

平成29年度草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約署名式挨拶(7案件)

2018年2月28日(公邸)

- 皆様、新年おめでとうございます。新年早々、皆様とこうして署名式をおこなえることは、非常に幸運であると考えています。
- 本日の署名式に、チャン・キム・ロン MARD 国際協力局長、7つの被供与団体の代表の方々に参加いただいています。日本政府を代表して、感謝とご挨拶を申し上げます。
- 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」は、草の根レベルに対する裨益効果が極めて高い事業に対し必要な資金協力を行うものです。ベトナムでは1992年から開始し、昨年度までに約630件総額約5,300万米ドル相当の協力が実施されてきました。
- 本日署名を行う7件、総額約60万ドルの協力は、服部医師(眼科医)の提案による眼科用医療機器整備、昨年8月の豪雨により甚大な被害を受けた灌漑施設の再整備、小学校・幼稚園といった教育施設建設、リハビリセンター建設、安全な生活用水の整備です。いずれのプロジェクトも、地域の方々の健康や生活改善、子供たちの未来に直結するととても重要な案件です。これらは、ナムディン省、タインホア省、クアンナム省、ビンディン省、クアンガイ省、クアンニン省、イエンバイ省の7省で実施されます。
- 日本政府は、このような協力を通じ、ベトナムの均衡のとれた開発に少しでも貢献したいと考えています。また、今回署名する事業を通じ、ひとりでも多くの方の未来が明るくなることを心より祈念致します。
- 日越関係全般について一言述べます。今年、日本とベトナムは外交関係を樹立して45周年を迎えます。ベトナム全土で多くの行事が行われます。
- 日越両国は、お互いに強い親近感を有しているとともに、多くの戦略的利益を共有しています。ベトナムが持続的に発展されること

は、日本にとっても非常に重要です。また、日本は、少子高齢化と労働力不足に直面していますが、日本に住む約23万人のベトナムの若者たちが大きな貢献をしてくれています。

- 最後に、皆様の御健勝、日越関係の更なる関係強化を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。
- シン・チャンタイン・カム・オン。有難うございました。(了)